

ようこそ！にほんむかしばなし せかい
日本昔話の世界へ

It~d Itcd

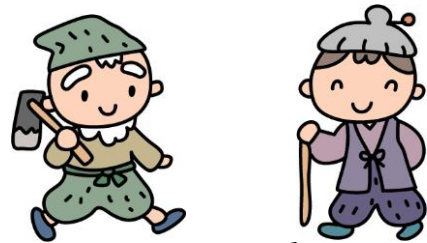
がテーマのえほん
21冊

えべっし
じょうほう
としょかん

おすすめ
えほんリスト



本は キラキラ まんげきょう
万華鏡
2015・第57回こどもの読書週間
4/23 ~ 5/12



よ読み聞かせにも向いている
えほん
絵本をえらびました



『おむすびころりん』
とみやす ようこ ぶん
富安 陽子 / 文
しらかた みお / 絵
しょうがくかん
(小学館)

おじいさんが食べようとしたおむすびが、
ころころ転がって穴の中へ！すると穴から
「おむすびころりん すってんしゃん」と楽し
げな歌が聞こえてきた。歌をうたっていたの
はネズミたち。穴の中にはどんな世界がある
んだろう。



『みるなのくら』
おざわ としお / 再話
あかば すえきち が
赤羽 末吉 / 画
ふくいんかんしよてん
(福音館書店)

やまおく みち まよ
山奥で道に迷ってしまった若者が、見つけた屋
敷でとめてもらうことになりました。ところが、もてな
してくれた娘に「この屋敷にある十二の“くら”のう
ち、十二ばんめの“くら”だけはけっして見ないでく
ださい」と言われます。めくるたびに、ふしぎなけし
きが広がる絵本です。



『ゆきおんな』
まつたに みよこ / ぶん
あさくら せつ / え
(ポプラ社)

ゆきくに つた はなし
雪国に伝わる、こわ〜いお話のひとつ。
しろいつしやく
白一色にうめつくされた吹雪の夜、山小屋
に逃げこんだ猟師の親子をおそったでき
ごと。おそろしいほど美しく白い世界が
想像力をかきたてます。



『だいこんどのむかし』
わたなべ せつこ
渡辺 節子 / ぶん
ふたまた えいごろう
二俣 英五郎 / え
(ほるぷ出版)

たったひとつだけ芽を出しただいこんを大切に
育てていた村人たち。ところがびっくり、「おが
おが」育てて見上げるほど大きくなっただいこん
が、いざ抜こうとすると「めくめく」泣いて口をきい
たではありませんか。ふしぎなだいこんと仲良
くなった村人たちでしたが、しばらくするうちに…。
ことば
言葉のひびきもすてきな絵本です。

『いぬとねことふしぎな玉』
つるみ まさお ぶん
鶴見 正夫 / ぶん
むらかみ ゆたか
村上 豊 / え
こうせいしゅつばんしゃ
(佼成出版社)

いぬとねこといっしょにしあわせにくらしてい
たじいさまが、ある日、小さな白いへびを助
けました。へびがくれた玉で大金持ちになっ
たじいさま。ところが、そのふしぎな玉がぬす
まれてしまい…。いきおいのある、わくわくする
おはなしです。



『くわすによぼう』
いなだ かずこ さいわ
稲田 和子 / 再話
あかば すえきち が
赤羽 末吉 / 画
ふくいんかんしよてん
(福音館書店)

よくばりな男の元へ「よくはたらいて、めしを食
わない」という、のぞみどおりのによぼうがきました。
ところがふしぎなことに、くらの米はどんどん減って
いくのです。によぼうのおそろしい正体とは？



『だごだご ころころ』
いしぐろ なみこ さいわ
石黒 漢子 / 再話
かじやま としお さいわ え
梶山 俊夫 / 再話 絵
ふくいんかんしよてん
(福音館書店)

ころがるだご（だんご）を
お
追いかけて、ばあさんが迷いだのは鬼
の穴。ばあさんは鬼たちに毎日だごを作ら
されるはめになり、帰ることができなくなっ
てしまいました。ちいさな生きものの恩返し
のお話です。



『ももたろう』
まつい ただし / ぶん
あかば すえきち / え
ふくいんかんしよてん
(福音館書店)

「ももたろう」の絵本の中でも、半世紀も前から
愛されているのがこの本。味わい深い絵から
は、ももたろうの強さや鬼の迫力が伝わってき
ます。言葉のリズムが良いことも魅力の一つ。
よ
読み聞かせにぴったりの一冊です。

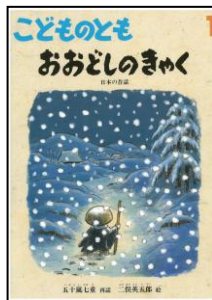


『かさじぞう』
まつたに みよこ ちよ
松谷 みよ子 / 著 黒井 健 / 画 (童心社)

年の暮れ、じいは笠を売りにまちへでかけたが、ひとつも売れない。とぼとぼ
と帰るとちゅう、どつぷりと雪をかぶったお地藏さまたちを見つけたじいは、笠
と手ぬぐいをかぶせてあげた。するとその夜、ふしぎな声が聞こえてきて…。
え
あたたかな絵と語りで、幸せに包まれる絵本。

ほかにもたくさんあるので
お気に入りのお話を見つけてみてね！



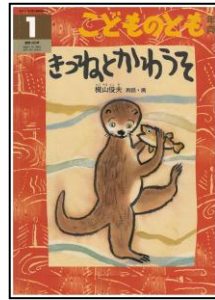


『おおどしのきやく』
い がらし ななえ さいわ
五十嵐 七重／再話

ふたまた えい ごろう え
二俣 英五郎／絵
(福音館書店)

(こどものとも 2012年1月号)

おおみそかの雪のばん、まずしいいさまとばあさまの家に、ぼうさまがやってきました。ふたりが大切にぼうさまをもてなすと、ふしぎなことがおこります。温かい方言の語り、「おもてなし」の心を感じることができる一冊です。



『きつねとかわうそ』
かじやま とし お さいわ が
梶山 俊夫／再話・画

ふくいんかんしよてん
(福音館書店)

(こどものとも 年中向き
2000年1月号)

きつねとかわうそがお互いにごちそうをし合おうと約束しました。かわうそは自分がとった魚をよるこんでごちそうしてあげたのに、きつねのほうは知らんぷり。絵のとぼけた味わいも楽しいどうぶつ昔話です。



『かちかちやま』
おざわ としお／再話

あかば すえきち が
赤羽 末吉／画
(福音館書店)

いたずらたぬきをつかまえて、おばあさんと二人で食べようとしたおじいさん。ところが大変なことが起きてしまいます！おじいさんのかわりにたぬきをこらしめようとするか、かきさぎと、まぬけなたぬきのやりとりが面白い。日本的な絵も魅力です。



『たからげた』
おの かずこ
小野 和子／ぶん

ふくだ しょうすけ
福田 庄助／え
(ほるぷ出版)

ははおや びょうき
母親の病気をなおしたいが、びんぼうでくすり薬がかえないむすこがいた。こまっていると、しらがのじいさまがあらわれて「これをはいて転ぶと、小判ができるぞ」とふしぎなげたをくれた。でも、このげたにはもう一つ、ひみつがあつて…。さあ、なにが起きるのかな？



『こそだてゆうれい』
さねとう あきら／文

いのうえ ようすけ／画
(教育画劇)

お寺のそばのあめ屋に、毎晩くらあめを買いに来るひとりの女がいました。雨でも風でも、夜になるとかならずやってくるのをふしぎに思った店の主人が、女のあとをついていくと…。少しこわいけれど、ぬくもりを感じるお話。

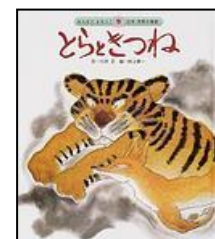


『へそもち』

わたなべ しげ お
渡辺 茂男／さく

あかば すえきち
赤羽 末吉／え
(福音館書店)

とらのかわのぱんつをはいたかみなりは、雨をふらせるばかりか、物をこわしたり、おへそをぬすんだり、人間をこまらせてばかり。とうとうお寺のおしょうさんにつかまりますが、雨をふらすにはどうしてもおへそを食べないといけなくて…。たて長の画面で空の高さを表現したおもしろい絵本です。



『とらときつね』

おざわ ただし ぶん
小沢 正／文

むらかみ こういち え
村上 幸一／絵
(チャイルド本社)

にほんにとてもあたまのいいきつねという動物がいるときいたとらは、ちゅうごくからにほんへちからくらべにでかけた。勝ったのは、あたまのいいきつね？ 強いとら？ さあ、どっちかな？



『かみながひめ』
ありよし さわこ／ぶん

あきの ふく／え
(ポプラ社)

うまれたおんなの子の髪がいつまでたっても生えてこない。心配したお母さんは、命がけでかんのんさまにお願いをします。成長して「かみながひめ」とよばれるようになった女の子の抜けた一本の髪から、大きく広がる物語。ははおや おお あい にほんじよせい くるかみ うつ
母親の大きな愛。日本女性の黒髪の美しさ。かみ おんな いのち ほんとう
“髪は女の命”は本当かもしれません。

『天のかみさま金んつなください』

つや こ さいわ
津谷 タズ子／再話

かじやま とし お が
梶山 俊夫／画
(福音館書店)

「やまんばに食べられては大変だから、外に出てはいけないよ、だれも家に入れてはいけないよ」とお母さんに言われて、るすばんをすることになった三人兄弟。でも、お母さんに化けたやまんばは、とうとう家の中に入ってきてしまいます。よき読みながらいっしょにドキドキしたり、安心したり。読み聞かせの魅力が詰まった一冊です。



『ちいさなたいこ』

まつおか きょう こ
松岡 享子／さく

あきの ふく
秋野 不矩／え
(福音館書店)

こころ 心やさしいおひやくしよう夫婦の畑で、大きなかぼちゃがとれました。ふしぎなことに、そのかぼちゃの中からぎやかな祭りばやしや聞こえてくるではありませんか。そしてある夜…。イメージ豊かな創作昔話。



『わらしべちようじゃ』
さいごう たけひこ／ぶん

さとう ちゅうりょう／え
(ポプラ社)

びんぼうな男が、かんのんさまから「つかんだものを、はなしてはいけない」とお告げをうけた。それでも相手のために手はなしていくと、最初につかんだ一本のわらが、みかんに変わり、布に変わり…。みんなは、じぶんの持っているものを取りかえてといわれたら、どうするかな？

『つるにようぼう』

たかはし ひろゆき
高橋 宏幸／ぶん・え
(第一法規)

「つるのおんがえし」という題でも知られる民話ですが、昔ながらの言葉で静かにつづられます。ゆきくに じんぶつ かんじょう つた
雪国のきびしさや人物の感情がよく伝わる、ていねいでやわらかい絵もみどころの一つ。特わか ぼめん ひつけん
に別れの場面は必見です。